

《平成22年9月議会質問および回答要旨》

1. HPV抗体検査について

《回答：健康福祉部長》

今回県内の献血により、今年1月～6月の半年間に3件のHIV陽性が判明したことは、誠に残念である。県では従来よりHIV感染の可能性のある方は、保健所で検査を受けて戴くよう広報しているが、今回の件を受けて、HIV抗体検査は保健所で無料で行っていること、匿名で検査が受けられることや、検査当日に検査結果が判明することなどについて、改めて広報を強化し、あわせて保健所における検査の受付時間の拡充についても取り組むこととしている。

2. 萩・石見空港路線について

《回答：知事》

首都圏は、政治、経済、教育、文化などあらゆる機能が集中したところであり、そのため首都圏へのアクセスを確保していくことは、島根県西部地方の地域振興には不可欠と考えている。従って今後ANAに対して、東京便の利便性向上のため、2便化に向けて粘り強く交渉していきたいと考えている。また国に対して、航空路線については自由化されているが、交通体系や地域振興の観点から、国が航空会社に対し一定の影響力を行使し、路線を一定枠確保するよう求めていきたいと考えている

3. バス路線の確保対策について

《回答：地域振興部長》

石見交通（株）からの16路線の廃止方針に対し、これまで県として7回にわたり関係市町と対応を協議するとともに、直接石見交通とも折衝を重ねた結果、16路線中7路線が廃止とされたが、残る9路線については減便、ダイヤ変更の上、継続するとの回答があった。それを受けて関係市町等で検討し、検討中の川本線を除き、現時点で8路線が維持され、川本線の検討結果を待って、9月末に廃止届けが提出されることになっている。

尚、廃止が決まった路線については、基本的には代替手段が確保される見通しとなっている。

4. ふるまい向上プロジェクトについて

《回答：教育長》

ふるまい向上プロジェクトは、子どもたちが、将来社会人として身につけておくべき規範意識、マナー、思いやりの心など、いわゆる振る舞いを乳幼児期から身につけさせることを目的としている。そして子育てに悩みや不安を持つ若い親世代への支援を充実することも目的の一つである。

また庁内の推進体制は、教育委員会、健康福祉部、警察本部が連携し、具体的な課題ごとにチームを編成し取り組んでいきたいと考えている。今後県民会議で委員の皆さんから意見を戴きながら、取り組みの方向性を確認し、県民に中に広がる運動にしていき

たいと思っている。

5. 獣医師の確保について

《回答：農林水産部長》

口蹄疫や伝染病への防疫対応を始め、多種多様な獣医師の業務の重要性について、県としても十分に認識しており、そのため獣医師を安定して確保していくために、危機感を持ってその対策に取り組んでいる。具体的には、全国の16の獣医系大学の学生に対し、業務や待遇のPRを行ったり、県内の獣医師職場を体験するインターシップにも取り組んでいる。また、一定期間島根県の獣医師として勤務することを返還の免除とする条件に、月額10万円の奨学金を貸与する獣医師緊急確保対策を本年創設するなど、様々な取り組みを行っている。

今後とも他の都道府県の取り組みなども参考にしながら、獣医師の確保対策に一層取り組んでいく考えである。

6. 乳がん検診について

《回答：健康福祉部長》

乳がん検診は、国の方針では視触診とマンモグラフィー機器による検診をあわせて行うこととしているが、県内では視触診を行う医師確保が困難な場合がある。その場合は、まずマンモグラフィー検診を受診してもらうような体制を整え、あわせて検診会場での乳がん模型を活用した検診指導や、パンフレットによる啓発により、自己検診を定期的に行うように呼びかけている。

尚、平成21年度の乳がん検診の受診者数は、節目年齢に無料クーポン券を配布するという事業の効果もあり、1万5,412人と平成20年度の9,173人より6,239人、7割増加している。